

# 成長計画2010

2010年5月12日

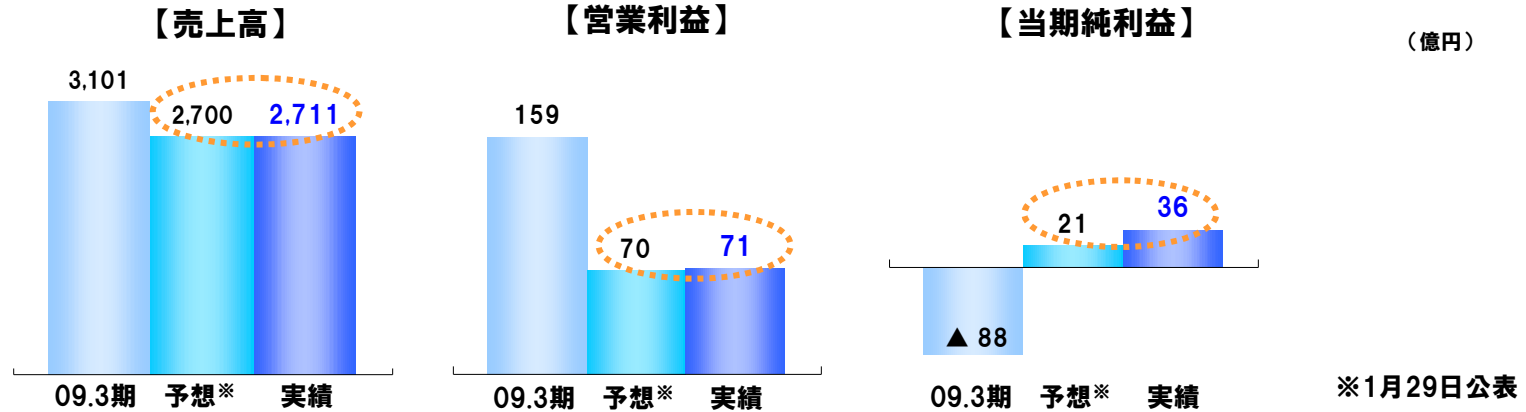
日本ユニシス株式会社  
代表取締役社長

靱井勝人

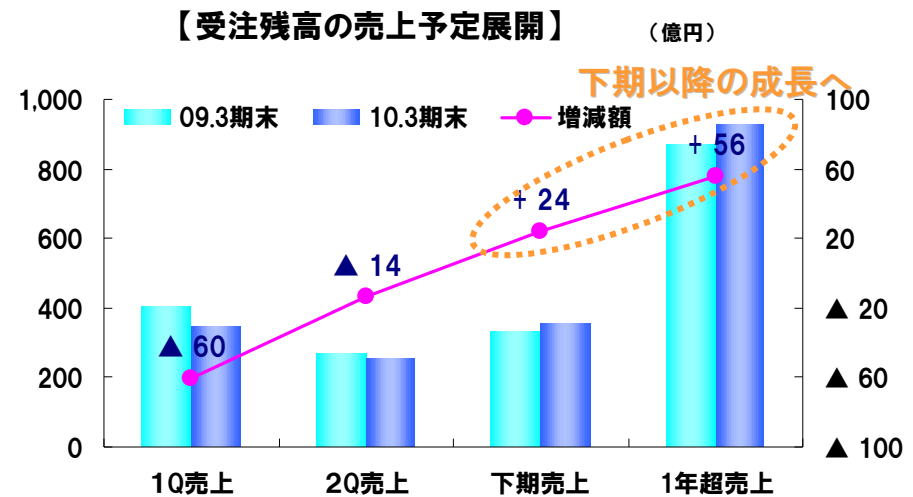
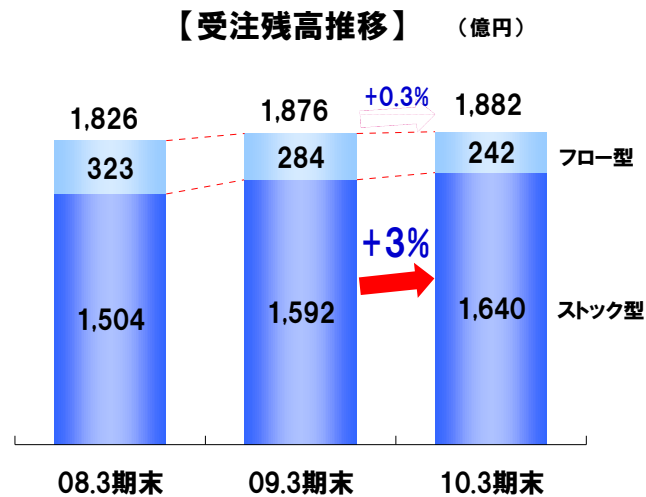
---

# 2010年3月期の総括

## 3Q時の公表見通し※に対しては、売上、利益とも達成



## 中長期的成長に向けた施策によりストック型受注が増加、受注残高も微増

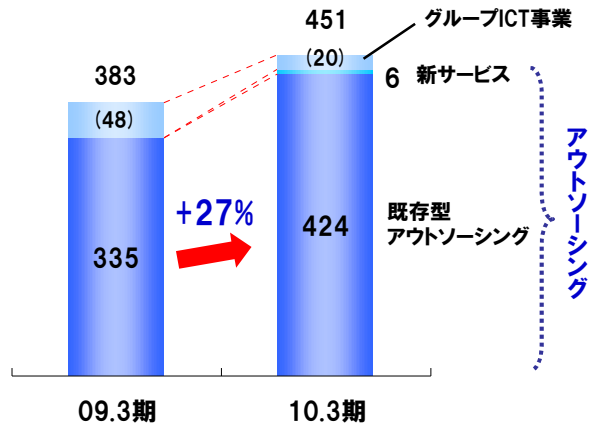


フロー型: システムサービス、製品販売、ネットマークスサービス(サポートサービスを除く)など  
 ストック型: サポートサービス(ネットマークスを含む)、アウトソーシング、製品賃貸

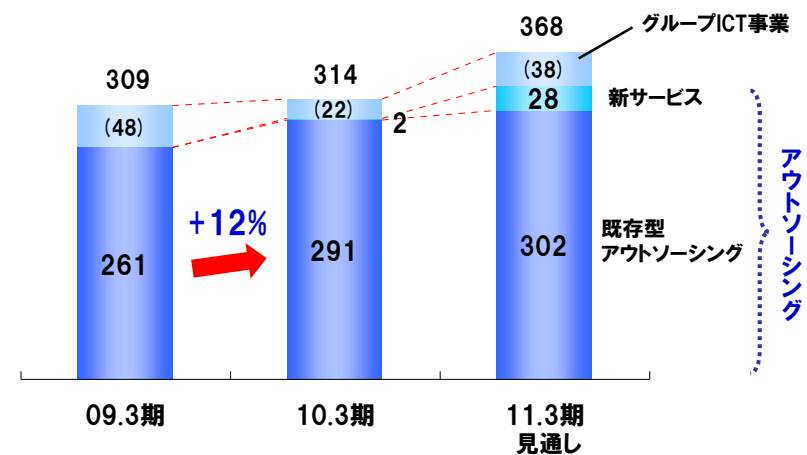
# 2010年3月期 成長施策の進捗状況

## ICTサービスは受注・売上とも順調に成長、新サービスも徐々に拡大へ

【ICTサービス受注高推移】（億円）



【ICTサービス売上高推移】（億円）



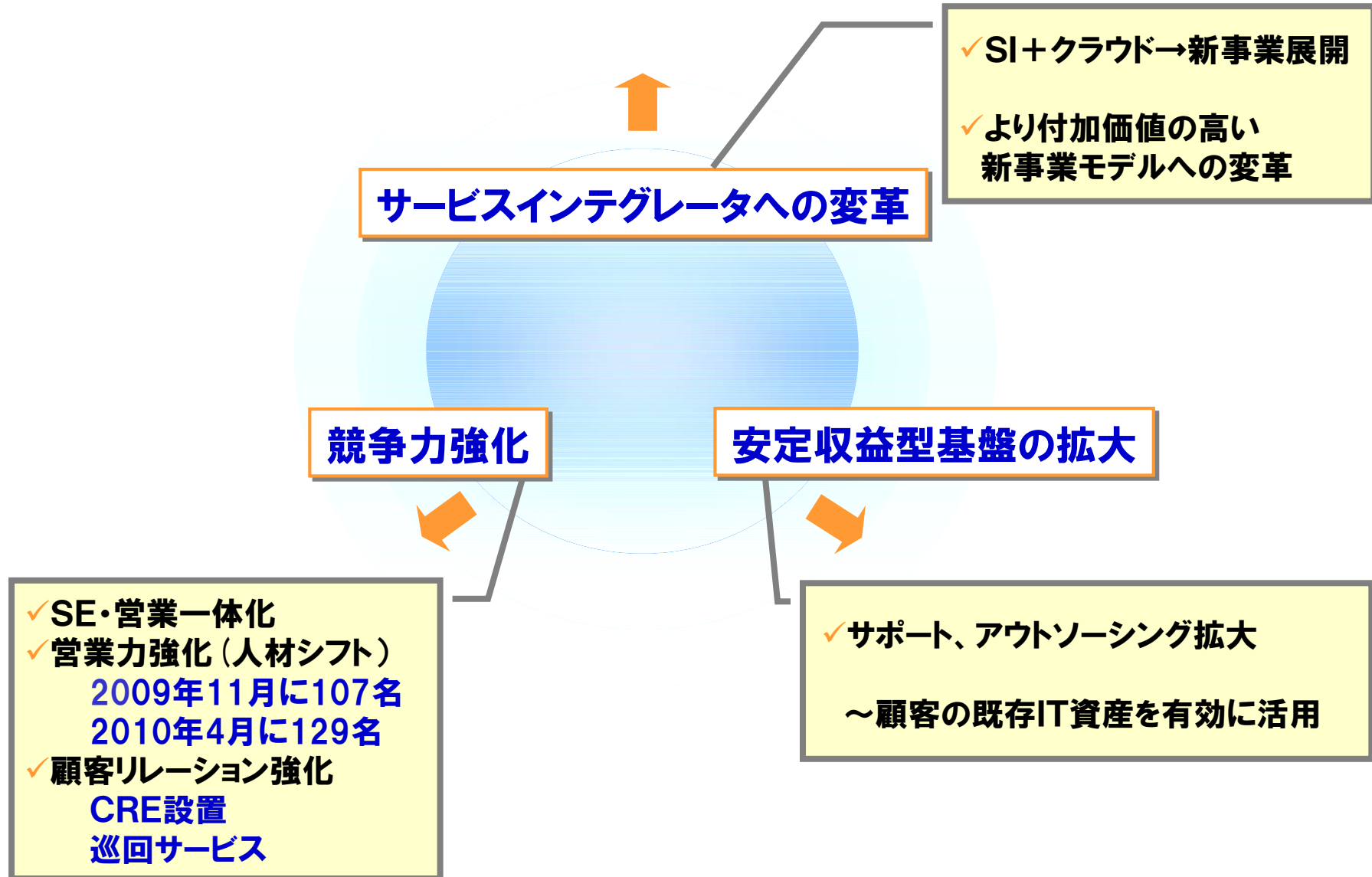
## S-BITS事業の構造改革が着実に進展、『BankVision®』拡販へ前進

- ✓ 既存契約行の開発自営化に伴い、中長期的に運営コストが大幅削減
- ✓ 競争力強化に向けた対応強化(インフラのスリム化を実現(最大4割削減)など)

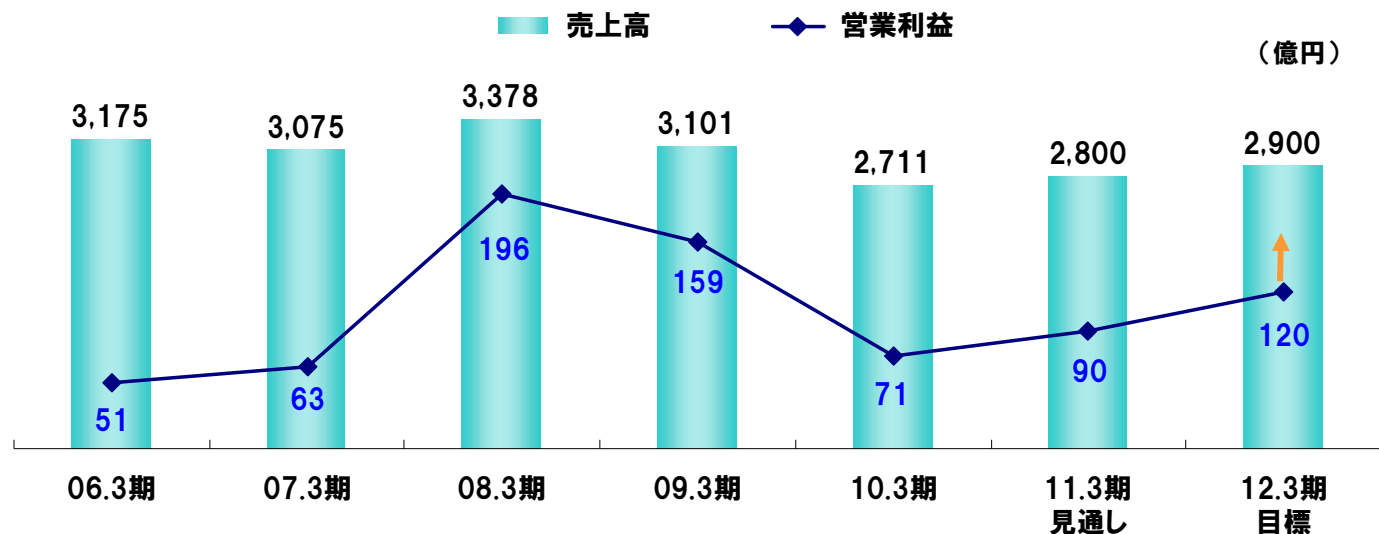
【BankVision 稼働スケジュール】

2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
5月 百五銀行	1月 十八銀行	1月 筑邦銀行	5月 佐賀銀行 5月 紀陽銀行 1月 山梨中央銀行(予)	鹿児島銀行(予)

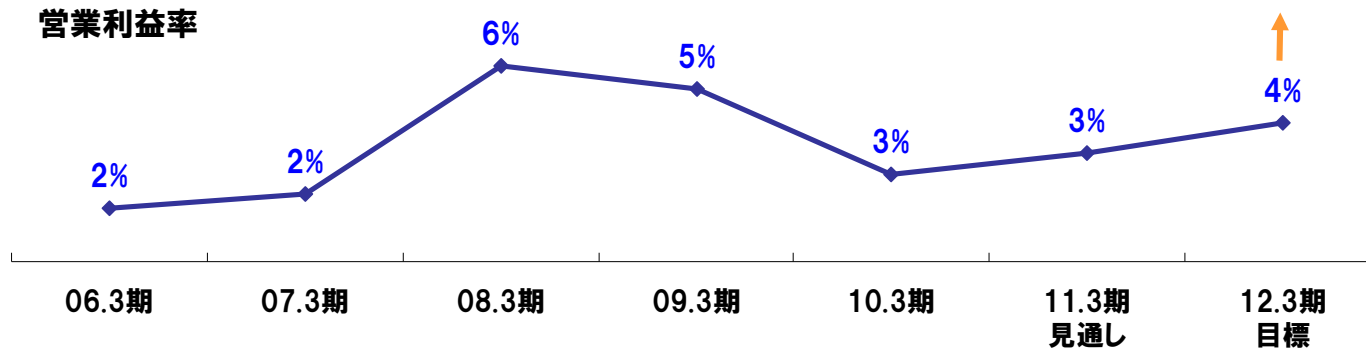
# トップラインを成長軌道に乗せるための3つの挑戦



## 2012年3月期 売上高および営業利益の目標



### 営業利益率



### ROE

06.3期	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期 見通し	12.3期 目標
2%	4%	3%	-11%	5%	5%	7%

(ご参考)

# 当社が目指す 「サービスインテグレータ」とは

## 現状認識

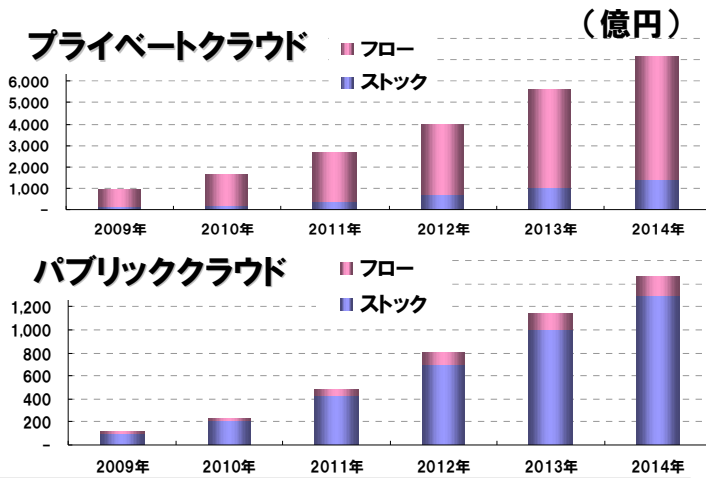
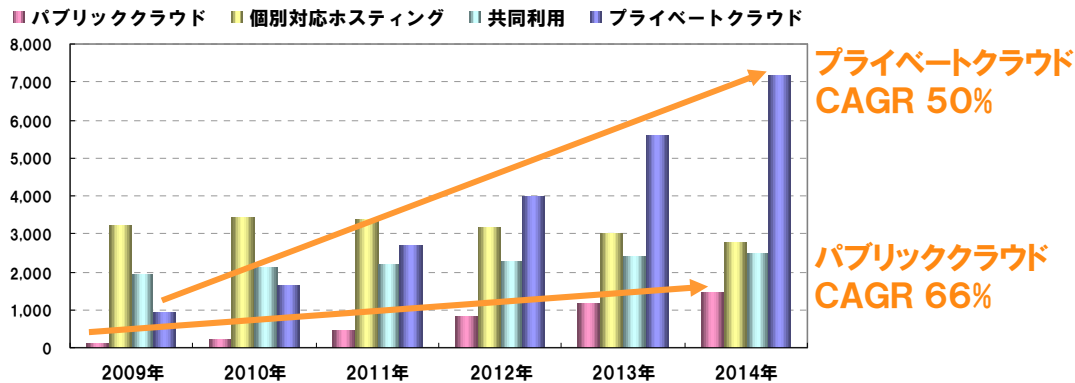
- ✓ 企業は、「戦略的IT投資」に意欲的だが、既存IT資産は効率化(仮想化)を進める
- ✓ 超大手企業は、まず自社IT基盤のプライベートクラウド化に着手
- ✓ 「パブリッククラウド、SaaS」の導入に際し、自社の既存ITとの連携を危惧

より、付加価値の高い「サービス」を提供

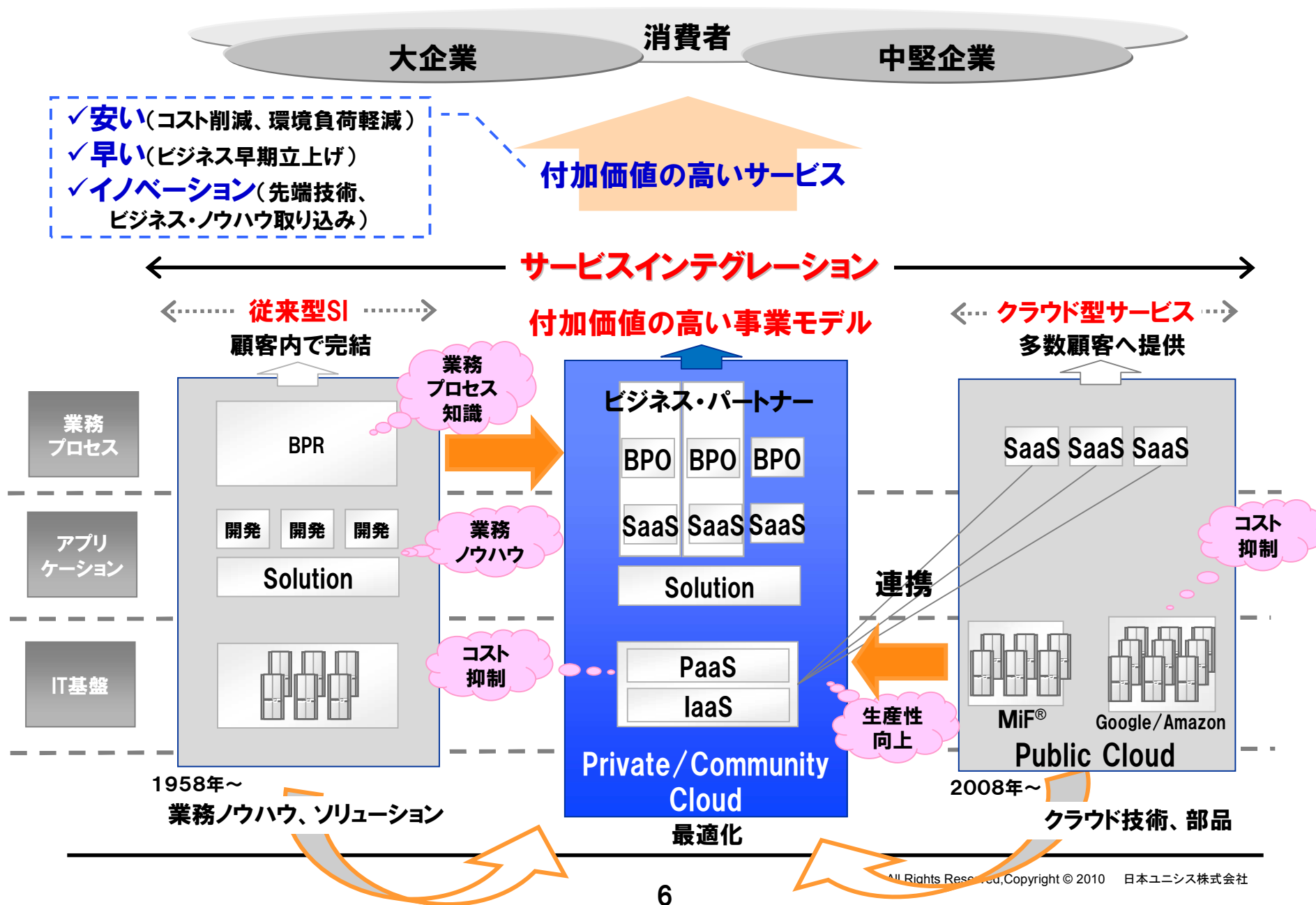
クラウド基盤上で複数サービス(複数業態、複数ベンダー)を  
組み合わせた最適な環境を、ワンストップで提供

パブリッククラウドが高成長。規模では当面プライベートクラウドのフロー投資が牽引

### <クラウドコンピューティングの市場ポテンシャル>



# SI & クラウドでの実績を活かし、サービスインテグレーション事業を展開



# U&U

Users & Unisys

# UNISYS

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。  
また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。